

「規模以上港湾」の貨物取扱量
一～五月は七・四%増に

■7・2

交通運輸省は一九日、貨物取扱量が年間一〇〇万トン以上に達する「規模以上港湾」の一～五月の貨物取扱量が前年同期比七・四%増の三九億三五四万トンに達したと発表した。そのうち、五月の貨物取扱量は、前年同月比五・七%増の八億三八七九万トンだった。

また、一～五月の国際コンテナ取扱量は前年同期比八・七%増の六九五二万五三〇〇TEU（二〇フィート標準コンテナ換算）で、そのうち五月の取扱量は前年同月比八・三%増の一五二万二八〇〇TEUだった。

ボーイングの中国での調達量
二〇一五年までに倍増へ

■7・3

天津ボーイング複合材料のゲイリー・ベッカー総経理は先日、米ボーイング社の中国での調達量が二〇一五年までに倍増するとの見通しを発表した。ボーイングはアジア太平洋市場の新型航空機の需要量は三〇年までに世界市場の半分に達すると予測している。

ベッカー総経理によると、ボーイングの予測では、世界の航空市場では今後二〇年間高い需要が続く、全世界で約三万三五千機の生産が必要となる。うち約五〇〇〇機は中国市場の需要で、金額にして六〇〇〇億ドル（四七兆四〇〇〇億円）に達する。

また、中国路線の旅客輸送量は三〇年までに現在の四倍に、貨物輸送量は五倍に増加する見通し。現在、ボーイングの中国でのサプライヤーは四〇社以上で、契約額は二五億ドル以上となっている。

中国のコンテナ輸送の需要
中科院は伸び率が鈍化と予測

■7・4

中国科学院予測科学研究中心はこのほど、コンテナ港湾の二〇一二年世界トップ二〇の予測を発表した。コンテナ港湾の取扱量の伸び率は世界的に鈍化すると見られるが、中国のコンテナ取扱量の伸び率は引き続きトップを維持しそうだ。ただし、経済構造の調整や対外貿易の発展方式の転換、新たな外需環境の発展などの影響を受け、中国の主要港湾のコンテナ輸送の需要は急速な成長から緩やかな成長に徐々に変化するという。同予測によると、世界トップ二〇港湾のうち遼寧市大連港の伸び率が

最も高く、二四%に達する見込み。

コンテナ水上鉄道複合輸送量
一二年は一九%増の一九四万TEU

■7・5

交通運輸省は、二〇一一年のコンテナ水上鉄道複合輸送量が前年比一九%増の一九四万TEUに達したと発表した。このうち、六本のコンテナ水上鉄道複合輸送モデル路線の年間輸送量は、三七・二%増の七九万九四〇〇TEUに達した。

中国南方航空
浦東～大阪間の貨物便を開設

■7・11

中国南方航空は八月二四日、上海浦東空港と大阪を結ぶ貨物路線を開設し、国際航空網を欧米からアジアに拡大してアジアでの貨物輸送を強化する。新路線の輸送能力は一週間当たり約五〇〇トン。

同社は現在、貨物専用便としては上海から六路線を運航しており、欧州と北米の二〇〇以上の拠点をカバーしているが、アジアでの貨物専用便は今回新設する大阪便が初めて。

中通速遞

天津市に華北地域本部を建設へ

■7・11

天津市空港経済区管理委員会は、このほど、上海中通吉速遞服務との間で中通速遞の華北地域本部の投資建設協定を締結した。これは「天津市速達サービス発展の第十二次五年計画（二〇一～一五年）」の重点工事の一つである「空港速達産業パーク区」の建設において重要な意味を持つ。

協定によると、同社は空港経済区内の速達産業パーク区に、華北管理センター、決済センター、電子ビジネスセンター、速達流通センターを建設する。投資総額は二億元（二四億元）。同委員会は同社に対し、約五・三ヘクタールの土地と建設開発金として四〇〇万円を提供する。

上海錦江航運
三井倉庫、住友倉庫と合併会社

■7・12

上海市錦江航運はこのほど、日本の大手倉庫会社二社と合併で物流事業を行うことと合意した。三井倉庫と「上海錦江三井倉庫国際物流」、住友倉庫と「上海錦江住友倉庫国際物流」をそれぞれ設立する。上海市錦江航運の持ち株比率はいずれも五一%。

二〇一四年までに上海外高橋物流パークに総面積九万二〇〇〇平方メートルの現代化物流倉庫を建設

し、常温倉庫、定温倉庫、包装加工、3PLを一体として総合物流サービスを提供する。

四川省が農産品冷蔵物流拠点 三年間で五〇カ所を建設

■7・13

四川省発展改革委員会（発改委）はこのほど、二〇一五年末までに四九億五九〇〇万元（五九五億八〇〇万円）を投資し、農産品冷蔵物流拠点を五〇カ所建設すると発表した。

同年末までに果物・野菜の冷蔵物流流通率を一八％に、肉類は三〇％、水産品は三〇％以上まで引き上げる。冷蔵輸送率の目標は、果物・野菜が二五％、肉類が五〇％、水産品が六〇％程度。

また、生産加工、卸売り・小売り、3PLを中心として、拠点型、中継型、端末型、冷蔵配送型の四大機能を特色とする冷蔵物流体系を形成する。さらに、果物・野菜の流通腐敗率は二〇％、肉類は八％、水産品は一〇％以下にまで低下させる。

■7・16

中儲糧 宝鋼物流と提携へ

中儲糧（上海）米業はこのほど、大手鉄鋼メーカーの宝鋼集団傘下の上海

海宝鋼物流との間で、契約に調印した。中儲糧（上海）米業は毎年、宝鋼集団にもみ穀一〇万トンを提供し、上海宝鋼物流は中儲糧（上海）米業に対して、もみ付きの穀物、加工済みの穀物、食用油の購入と販売、倉庫、配送など先端の物流サービスを提供し、中儲糧（上海）米業の調達および販売の効率を引き上げる。

もみ穀は鉄鋼業界で良質な補助材料として広く応用されている。米の製造・加工企業は米の副産物であるもみ殻を焼却してきたが、周辺環境への汚染が深刻であるため、中儲糧（上海）米業と上海宝鋼物流は提携を決めた。

高金食品が蘭州で一五億元投じ 農産副産物流取引センター建設

■7・24

四川高金食品股份は十二日、甘肅省蘭州市に西北農業副産物特産品取引センターを建設することで同市国有資産監督管理委員会（国資委）と合意したと発表した。投資総額は一五億元（一八〇億円）で、工期は二〇二二～二〇二五年の予定。

子会社の蘭州肉聯廠の既存の用地を使用し、西北地域で最大規模となる農業副産物特産品の物流・取引センターを建設する。完成後の農産物の貯蔵能力は一〇万トン、取扱量は

年間四三二万トンに達する見込み。

ボルボ・カーズ 北京に補修部品の流通センター

■7・30

吉利控股集团傘下のスウェーデンの自動車大手、ボルボ・カーズはこのほど、北京アフターサービス部品流通センターを正式に稼働させた。二〇一〇年に稼働した上海市のセンターに続き、中国で二カ所目の部品流通センターとなる。

新センターは同社が中国で販売している全車種に対応する一萬種以上の自動車部品を供給し、中国市場のほぼ五〇％を占める北京市、山東省、陝西省などの市場をカバーする。

物流調達連合会の上半期統計 社会物流総額は八三・六兆円

■7・31

中国物流調達連合会によると、上半期（一～六月）の中国の社会物流総額は八三兆六〇〇億元（一〇〇三兆二〇〇億円）に達し、前年同期に比べ一〇％の成長となった。ただし、不変価格で算出した増加率は前年同期から三・七ポイント、前期から〇・九ポイント下落し、対一～五月比では横ばいだった。

上半期の工業品の物流総額は、前

年同期比一〇・五％増の七六兆四〇〇億元。増加率は前年同期から三・八ポイント、前期から一・一ポイント減少した。

また、社会物流総コストは前年同期比十一・九％増の四兆一〇〇億元で、増加率は前年同期から六・四ポイント、前期から〇・三ポイントの下落だった。

配送期間四～七日で三元を還元 アマゾン中国が上海で開始

■7・31

米アマゾン・ドット・コム傘下のアマゾン中国は六月、上海市で配送期間が通常より長い「ゆっくり配送サービス」を開始した。アマゾンのオリジナル商品の購入額が九九元（一八八円）以上に達した利用者が配送期間が四～七日のサービスを選択すると、三元が還元される。同社によると、このサービスは主に価格を重視する利用者向けだという。

同サービスは現在、上海市（崇明県を除く）と果龍江省ハルビン市の一部地区で実施している。電子ビジネス企業と配送企業は、夏場は高温や雷雨による配送の問題に悩まされており、同サービスによってこの問題を軽減できる。輸送コストの面でも通常の送料無料より採算性が高いという。